

10.20~21反戦闘争に決起しよう

日刊 勤労千葉

81.10.17
No.871

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五ノ六・公巻(日)五二二七二〇七

レーガンの戦争挑発を許すな！三里塚二期着工阻止、軍事大国化阻止、右翼労戦「統一」粉碎！

今日の情勢は、我々が昨年オマハ大会で指摘した様に、「強いアメリカの復活」を掲げるレーガンの登場によって、リビア、アンゴラ、北朝鮮への戦争挑発にみられるように、全世界が戦争の一触即発情勢にきています。

三里塚二期決戦の開始の中で迎える10・21国際反戦デーにあたり、強まる軍靴の足音に対してひととき高く戦争反対の叫びと叫びを叩きつけていこうではありませんか。全組合員の10・20、21反戦闘争への総決起を訴えます。

「平和」・「繁栄」の裏側で何が行われたか

「56年度国防白書」の中で、自民党・鈴木政権は軍事大国化を宣言し、公然たる改憲を主張し、全面的な反動攻勢をかけてきました。「81年度防衛予算の別枠化」、「有事法制研究の中間報告」、「ミッドウェー寄港容認をもってする非核三原則の空洞化」、「日米共同演習の激化」、「教科書検定強化」、「刑法改悪—保安処分攻撃」、靖国法上程、全閣僚の8.15靖国参拝」等々、戦後体制を変革する一大反動攻勢に出ています。

これは、体制的危機を深める日帝・鈴木体制が、軍事大国化を實現し、朝鮮・アジア侵略の道を突き進むための侵略体制構築にむけた攻撃であり、戦後労働運動が立ちこた一切の既得権を奪い取る攻撃であります。

こうした緊迫した情勢の中で、今日ほど反戦闘争への決起が求められている時はありません。

右翼的労戦「統一」策動を粉碎し、勤労千葉に続く戦局的全国潮流をつくり出そう

政府・自民党の反動攻勢は、労働運動に対しても激化しています。敵の狙いは、労働運動指導部を屈服させ、戦後労働運動の戦局性を解体し、産業報国会化しようとするものであります。

政府・資本の全面バックアップを受けた同盟・JCOの大単産右翼的指導部の狙いは、「労戦「統一」」の名の下で、闘争部分を排除し、総評を右からブツカキ、解体せんとする。右翼分裂攻撃そのものである事

唯一、敵の反動攻勢と対決し闘いでいるのは、三里塚を軸とする闘いであります。われわれは、三里塚により広範な労働者人民を結集して闘いぬくこと、また、この闘いぬきに、われわれの未来もありません。こうした中で、勤労千葉が軍事大国化攻撃の要としてある三里塚二期着工攻撃に対し、労農連帯の旗を守り抜き、政治闘争として闘ってきた路線こそが正義であり、日帝の軍大化と改憲攻撃、右翼的労戦「統一」攻撃に対する正しい回答であります。

反戦の若・人民共闘の若「三里塚を守り、今秋、三里塚反戦闘争の一大高揚かちとろう！」

この様な戦争への危機の中で、唯一、敵の反動攻勢と対決し闘いでいるのは、三里塚を軸とする闘いであります。われわれは、三里塚により広範な労働者人民を結集して闘いぬくこと、また、この闘いぬきに、われわれの未来もありません。こうした中で、勤労千葉が軍事大国化攻撃の要としてある三里塚二期着工攻撃に対し、労農連帯の旗を守り抜き、政治闘争として闘ってきた路線こそが正義であり、日帝の軍大化と改憲攻撃、右翼的労戦「統一」攻撃に対する正しい回答であります。

われわれは、10・20中央集会に結集する総評傘下をはじめとする全この労働者に、勤労千葉と共に三里塚反戦闘争に決起する事を訴え

は明白です。

とりわけ、勤労本部革マル反動分子にいたっては、闘争労働者を権力にテックあげ告訴してまで売り渡すという、権力の先手「警察労働運動」にまでなり果てる事によつて、今日の右翼的労戦「統一」攻撃の最も卑劣な火兵となる事をバクロし、徹底弾劾し、粉碎一掃していかなければなりません。

80年代をきりひろく闘いの最先頭に起とうではありませんか。

同時に、10・11三里塚現地集会には、勤労千葉と総評全金本山労組を先頭とする千名を越えるかつてない闘争労働組合の隊列が生み出されてきたように、「三里塚を闘う労働運動」の一層の修羅的拡大をかちとっていくではありませんか。三里塚反対同盟石橋委員長代行、勤労千葉奥川委員長、東京実行委浅田氏、関西実行委永井氏ら、戦局的に39氏のよびかけで開催される10・21人民共闘大集会に結集し、三里塚を基軸に、80年代の勝利をきりひろくへ総決起しようではありませんか。

- 10・20中央集会(審判)18 明治公園
- 千葉集会(東洋)18 本町公園
- 10・21人民共闘大集会(39名)12 芝公園